

7月15日　の海外相場									
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)	
	Open	4,005.9		57.650		1,604.2		1,255.0	
	High	4,112.5		59.605		1,663.1		1,325.5	
	Low	3,990.4		57.515		1,585.9		1,243.5	
	Settlement	4,069.7		58.772		1,632.9		1,307.7	
	Change	64.0		1.138		29.3		55.0	
EFP		\$5.50	\$6.50	¢ 25.00	¢ 35.00	\$0.00	\$10.00	-\$5.00	\$5.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)		
		AM
Gold		4,027.35
Silver		57.950
Platinum		1,638.75
Palladium		1,314.70
		PM
Gold		4,062.20
Silver		-
Platinum		1,646.10
Palladium		1,317.15

コメント

Precious Metal

金：小幅上昇　銀：横ばい　プラチナ：上昇　パラジウム：小幅上昇

金銀市場は小幅続伸した。6月米PPIが市場予想を下回り、前日のCPIに続いてインフレ圧力の鈍化が確認されたことで、ドルと米長期金利が低下し、貴金属市場を支えた。市場ではFRBによる早期利上げ観測が一段と後退し、金・銀ともに底堅い推移となった。一方で、中東では米軍によるイランへの空爆が継続しており、地政学リスクも相場の下支え要因となっている。

プラチナ・パラジウム市場も金銀と同様に堅調に推移した。ドル安と米金利低下を背景に貴金属セクター全体へ買いが入ったほか、中東情勢を巡る不透明感も支援材料となった。ただ、市場ではFRB高官の発言や中東情勢の行方を見極めたいとの姿勢が強く、上昇は限定的だった。

FX

ドル円：下落　ユーロドル：上昇

為替市場ではドル円が3日ぶりに反発した。トランプ米大統領がイラン船舶の封鎖再開方針を示し、ホルムズ海峡を巡る緊張が高まったことで原油価格と米長期金利が上昇。一時162.48円まで上昇した。さらに、ウオラーFRB理事がインフレ指標次第では近い将来の利上げの可能性に言及したこともドル買いを後押しした。ユーロドルは続落。原油高を背景としたドル買いに加え、FRBの早期利上げ観測を受けた米長期金利の上昇が重しとなり、一時1.1378ドルまで下落した。市場では中東情勢の行方と今後の米インフレ指標が引き続き相場の焦点となっている。

ドル円：162.19ユーロドル：1.1463

7月13日　週の経済指標一覧									
07/13 (月)				07/14 (火)			07/15 (水)		
Americas				アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 06月 [前月比]			アメリカ・フィラデルフィア連銀景況指数 07月		
	前		予	前	0.5%	予	前	10.3	15.0
							アメリカ・小売売上高 06月 [前月比]		
	前		予	前		予	前	0.9%	0.3%
							アメリカ・ミシガン大学消費者信頼感指数		
	前		予	前		予	前	49.5	51.3
APAC									
	前		予	前		予	前		
	前		予	前		予	前		
EMEA									
	前		予	前		予	前		
	前		予	前		予	前		

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉					
2026/7/7		Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long		25.0	301.7	1,598.1	948.4
Short		5.6	102.7	667.9	1,233.6
Net		19.4	199.0	930.3	-285.2
Change		1.5	6.2	-77.1	-184.2

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。